

## 講義室の感染対策について

1. 登校前には毎日検温し平熱であることを必ず確認してください。検温を行っていない場合は、キャンパスに設置するサーモグラフィーカメラを利用し、必ず平熱であることを確認してください。なお、発熱や咳等の風邪症状で体調不良の学生は、対面授業を受けることはできません。本学ホームページのコロナまとめサイトにあるコロナウイルス対応チャートにしたがって自宅療養・健康観察をしてください。
2. 入退室時は、必ず手指消毒を行ってください。また、消毒セットを用いて机や椅子などを消毒してください。
3. 授業中もマスク着用が大原則です。マスクは、布マスクやウレタンマスクではなく、必ず不織布マスクを着用してください。また、教室内での会話は控えめにしてください。
4. 換気は、出入口と窓を開放して換気や風通しをよくするようにしてください。ただし、雨、寒さ、騒音、PM2.5で支障がある場合は窓を一部閉めて差し支えありません。また、サーキュレーターは換気の為に、常時稼働しています。
5. 寒暖の調節が効く服装を心がけてください。
6. CO2測定器で、数値が1,200ppm以上になったら、換気を行いますので、ご協力をお願いします。
7. 昼食については、弁当等を講義室内で食べることができますが、食事中はマスクをはずしていることから、会話はせずに黙食としてください。
8. 痰、唾、鼻汁の付着したティッシュ・マスク等は、感染防止のため教室内で廃棄せず各自で持ち帰ってください。

教務係